

感染防ぐ空調フィルター

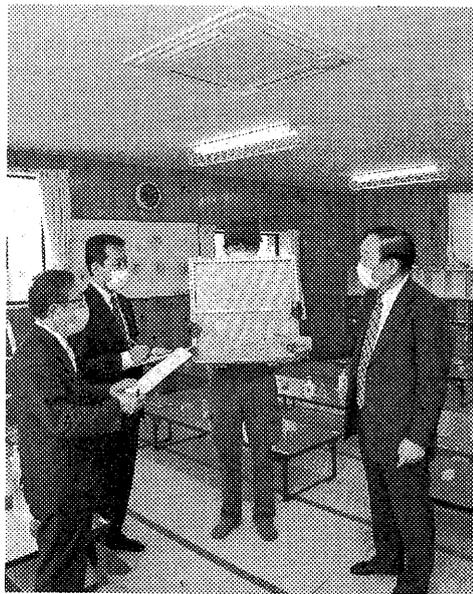
公明市議 導入施設で状況を確認

埼玉・川口市

埼玉県川口市は現在、新型コロナウイルス対策に努める中で、感染経路の一つであるエアロゾル感染への対応として、従来よりも抗菌効果の高い空調用フィルターの各所への導入を進めている。

公明党の大関修克市議は

このほど、市立中居小学校の放課後児童クラブで対策



エアフィルターについて松江社長(右端)から説明を受ける大関市議(左端)

が開発したエアフィルター

の状況を確認した。

エアロゾルは、空中に浮遊する飛沫より小さい粒子。市は、換気やマスク着用の徹底などの感染対策とともに、空調用フィルターメーカーの株式会社ユニパック(松江昭彦代表取締役)

を、放課後児童クラブ42施設や市鳩ヶ谷庁舎などに導入している。

このフィルターの特長は、粒子の細かい菌やウイルス、ほこりを取り集めることと、フィルター表面に持続抗菌剤をコーティングし、ウイルスの増殖を抑制すること。松江代表取締役は「取り付けが簡単で、洗浄により再利用ができる」と説明した。

大関市議は「より安全・安心な環境を子どもたちに提供するために引き続き取り組みんでいく」と述べた。